

平成25年度 新規事業候補箇所
新規事業採択時評価

平成25年4月23日

国土交通省 東北地方整備局・北陸地方整備局

一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道)

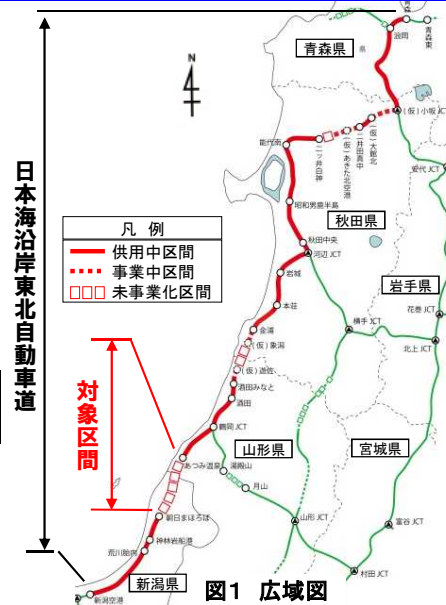
朝日温海道路に係る新規事業採択時評価

あさひ あつみ

1. 事業概要

- ・起 終 点: 新潟県村上市川端
~山形県鶴岡市大岩川
- ・延 長 等: 40.8km
(2車線、設計速度 80km/h)
- ・全体事業費: 約1,900億円
- ・計画交通量: 約11,400台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約4,600/日	約1,200台/日	約5,500台/日



2. 道路交通上の課題

① 防災・災害時の救助活動等

- ・国道7号では、越波や土砂崩れ等の災害や交通事故による通行止めが過去10年間(H14~H23)で30回発生【図3】
- ・新潟県と山形県境部では、縦断する主要幹線道路は国道7号しか存在しない【図2】



図3 国道7号 越波による通行規制(H24.4)

② 住民生活

- ・村上市、鶴岡市には、第三次救急医療施設に60分で到達出来ない地域が広く分布【図4】
- ・全人口約20.5万人のうち、第三次救急医療施設への60分圏域外人口が1.3万人存在

<アンケート※で寄せられた意見>

- ・国道7号が災害や事故になると寸断されるので、救急搬送も出来なくなる

※ 日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろばIC(仮称)~温海IC」間における新たな高速道路の計画に関する意見募集アンケート (H23.11)

③ 地域経済・地域社会等

- ・国道7号の通行止め時には、大きな時間ロスが生じることから、物流企業等は物資輸送に不安を抱えている

3. 整備効果 <災害面等の課題に対する効果>

※既事業中区間の効果を含む

効果1 防災・災害時の救助活動等

- ・現道の通行止め区間が回避されるとともに、日本海側に災害に強いネットワークが形成されることで太平洋側に相互補完が可能となり、広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーが確保できる【図5】

効果2 住民生活

- ・第三次救急医療施設(新発田市・酒田市)までの搬送時間の短縮と安静搬送による患者への負担軽減が期待される【図4】
- ・村上市、鶴岡市の第三次救急医療施設への60分圏域外人口朝日まほろばIC~あつみ温泉IC間
未供用 約1.3万人 → 供用後 約0.9万人(約4,000人減少)

効果3 地域経済・地域社会等

- ・安定的な物流ルートが確保されるとともに、日本海側拠点都市間や国際海上コンテナ港(新潟港、秋田港)、リサイクル貨物港(酒田港)等の拠点港間を連絡し、交流を支援する【図5】



図4 第三次救急医療60分圏域



図5 高速ネットワークの形成

費用対便益の詳細

B/C	1.4	総費用: 1,536億円	総便益: 2,075億円	基準年
		・事業費: 1,391億円 ・維持管理費: 145億円	・走行時間短縮便益: 1,501億円 ・走行経費減少便益: 442億円 ・交通事故減少便益: 132億円	平成24年

・経済的内部収益率(EIRR): 5.8%

※1: 総費用、総便益については、基準年(H24年)における現在価値を記入。

※2: 便益には、3便益(走行時間短縮便益、走行時間経費減少便益、交通事故減少便益)を計上。

3. 整備効果 <<防災面のネットワーク上のリンクとしての評価>>

①主要都市・拠点間の防災機能の向上 【評価:◎】

●鶴岡市～村上市の評価

現況	→	(目標) 整備後
D	→	(B)

現況:主経路(国道7号)に通行規制箇所があるため、評価レベルはDとなる。

整備後:当該事業のルートが通行規制箇所を避けて計画しているため、災害危険性はなく、評価レベルはBとなる。

※隣接事業中・調査中区間が整備済と仮定

	ランク	耐災害性	多重性
	A	あり	あり
	B	あり	—
	C	なし	あり
	D	なし	なし

②市町村間等の連結性の向上 【評価:◎】

- ・当該リンク周辺の市町村から、最寄りの隣接市町村までの到達時間を計測。
- ・当該リンクの整備による到達時間の短縮度合いからネットワーク全体の防災機能向上を評価。

弱点度(整備前)	弱点度(整備後)	改善度
20.6	0.7	27.7

- ・弱点度は、災害時に、通常時と比較して、各市町村から県庁所在地及び周辺市町村への到達時間が増加する度合いを表し、評価対象リンクを通過する市町村間等の移動における到達時間の総和の比で計測される。
- ・改善度は、整備前後で、各市町村から県庁所在地及び周辺市町村への到達時間が短縮する度合いを表し、整備前後の弱点度の比で計測される。

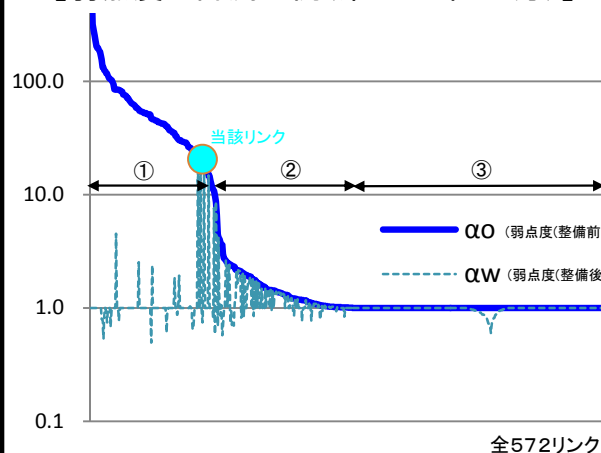
【現況の評価レベル(東北・北陸地方)】



【整備後の評価レベル(東北・北陸地方)】

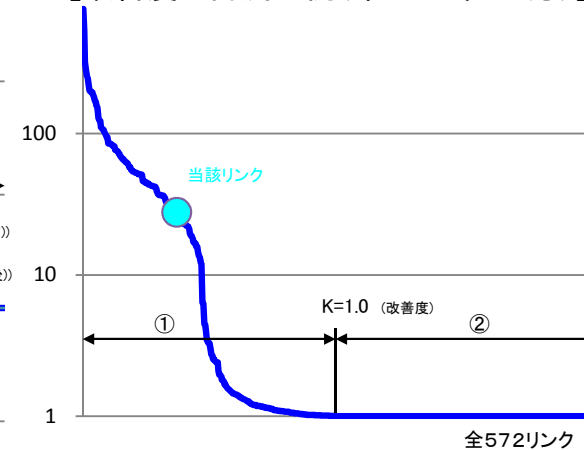


【弱点度の計測の例(東北・北陸地方)】



①災害時不通	: 131
②災害時迂回有り	: 162
③災害時迂回無し	: 279

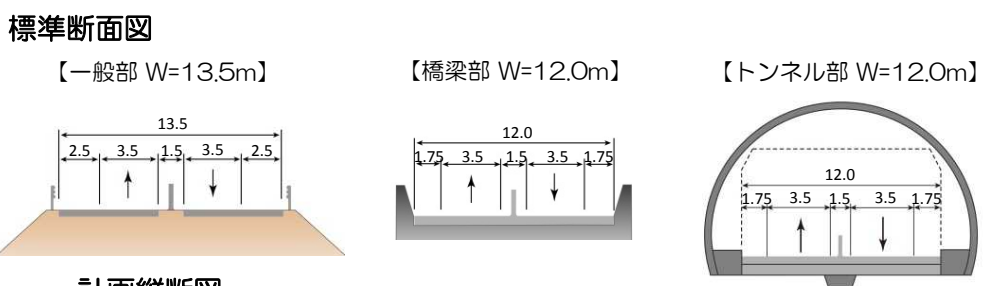
【改善度の計測の例(東北・北陸地方)】



①改善度が1より大	: 283
②改善度が1	: 289

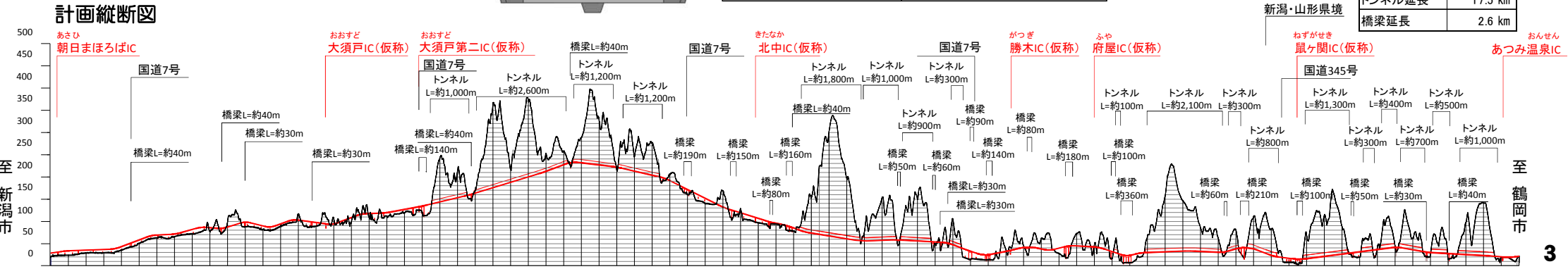
一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温泉ICに係る新規事業採択時評価

あさひ あつみ
朝日温泉道路 L=40.8km



凡例

■ 対象区間	● 主要拠点
■ 供用中区間	■ 津波想定浸水域
■ 事業中区間	■ 浸水想定箇所
■ 高規格幹線道路	■ 事前通行規制区間
■ 一般国道(指定区間)	■ 大型車通行規制区間
■ 一般国道(指定区間外)	● 交通事故多発箇所(100件/暦台キロ以上)
■ 主要地方道・一般県道	→ 急勾配区間(4%以上)
■ 集落	● 線形不良箇所(R200以下)



	延長
全体延長	40.8 km
トンネル延長	17.5 km
橋梁延長	2.6 km